様式３(2020.08改)

作成日　令和2年11月24日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394000042
事業所名	グループホーム　サマリヤの家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍によって地域との交流が中断していたが、先月(令和2年10月)今年度第1回めの認知症カフェを開催した。 地域のシルバー人材センターを会場として開催したが、感染防止の観点から、利用者の参加は見合わせた。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	4月、6月、8月と書面開催であった運営推進会議が、10月に通常開催として開催された。 書面開催ではホーム側からの一方的な状況報告を余儀なくされていたが、久々の対面開催で、会議メンバーの活発な意見交換が行われた。 新型コロナウイルス感染症に関する話題が主となった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	職員1名が新型コロナウイルスに感染するという、ホームとしての「非常事態」が生じた。市と保健所の指示を受けて二次感染の防止に努め、他の職員や利用者に感染が広がることなく、クラスターの発生は防ぐことができた。 市、保健所から、感染拡大防止のための必要資材の供給を受けた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の面会を制限しており、事前チェックを行った上で玄関先での面会が可能である。家族にも面会を自粛する配慮があり、電話で利用者と会話するケースが増えている。 ホームからの情報提供として、毎月のホーム便りと3ヶ月に一度の手紙で利用者の近況を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍によって4月、6月、8月と書面開催であった運営推進会議が、10月には久々に通常会議として開催された。
新型コロナの「第三波」の発生により、次回以降は再度書面開催となる予定である。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	×	○	○	○	○	○	◎	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										